

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
整形外科学		必修 (理.作) 選択 (福)	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
山本 泰宏	C304	yasuhiro_yamamoto		水曜 1 限、木曜 4・5 限	
授業の目的・概要	<p>目的 運動器疾患の病態を理解して、理学療法および作業療法における評価、治療方針作成の基礎的知識と思考方法を学ぶ。また高度なメディアを利用するスキルを身につけるため、双方向型遠隔授業を行う。</p> <p>概要 最初に炎症、神経損傷、関節と脊椎の退行性変性の病態とその治療原理・原則を講義する。これらの知識を基に、そこから発展的に各種疾患および外傷の病態と治療戦略の原理・原則について教員の30年の実務経験で記録したスライド、動画を示して実践的な講義を行う。</p>				
学習上の助言	講義を理解するには解剖学、生理学、運動学の知識が必須です。事前学習内容を参考にして必ず予習課題を行ってください。予習課題を行ったことを前提として講義を行います。				
教科書	「標準理学療法学・作業療法学」 第4版 著：立野勝彦 出版社：医学書院				
参考書	「標準整形外科」第13版 医学書院				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	運動器に生じた病理学的異常と症候の関係を説明できる。		HSU(1),(2),(3) PT(2),(3) OT(1),(2)		
②	理学療法士、作業療法士として対応する主要な疾患の特徴と治療方針を説明できる。		HSU(1),(2),(3) PT(2),(3) OT(1),(2)		
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	【関節リウマチ】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：課題提出後に解説の配布、メールによる質問・回答	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P61～64 を読んで、予習課題を行う。配布資料で復習する。		6
2	【変形性関節症】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：課題提出後に解説の配布、メールによる質問・回答	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P72～73 を読んで予習課題を行う。配布資料で復習する。		6
3	【末梢神経障害 1】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：課題提出後に解説の配布、メールによる質問・回答	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P143～145 を読んで予習課題を行う。配布資料で復習する。		6
4	【末梢神経障害の外傷】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：課題提出後に解説の配布、メールによる質問・回答	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P145～147 を読んで予習課題を行う。配布資料で復習する。		6
5	【末梢神経障害 3 絞扼性神経障害】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：課題提出後に解説の配布、メールによる質問・回答	印刷教材、メールによる質問・回答	P148～150 を読んで、予習課題を行う。配布資料で復習する。		6
6	【脊椎の変性疾患と神経根障害】 頸椎椎間板ヘルニアと腰椎椎間板ヘルニア フィードバックの方法、学生の意見交換の場：課題提出後に解説の配布、メールによる質問・回答	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P100～103 を読んで予習課題を行う。配布資料で復習する。		6
7	【脊椎の変性と脊髄・馬尾障害】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：課題提出後に解説の配布、メールによる質問・回答	印刷教材、メールによる質問・回答	教科書 P105～106、109 から 110 を読んで予習課題を行う。配布資料で復習する。		6
8	【小児の運動器疾患 (骨端症、脊柱変形、先天性股関節脱臼、先天性内反足、筋性斜頸)】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P77～86 を読んで予習課題を行う。配布資料で復習する。		4
9	【その他の疾患 (腰椎分離症、腰椎捻り症、腱板損傷、テニス肘など)】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P103～104、151～152、162 を読んで予習課題を行う。配布資料で復習する。		4
10	【関節軟部組織の外傷 (捻挫、脱臼、膝内障)】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P139～142 を読んで、予習課題を行う。配布資料で復習する。		4

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

11	【骨折総論】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P115～121 を読んで、予習課題を行う。配布資料で復習する。	4
12	【骨粗鬆症と骨折】。 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P71～72、122～124、126～129 を読んで、予習課題を行う。配布資料で復習する。	4
13	【四肢・体幹の骨折】 主要な骨折 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P121～132 を読んで、予習課題を行う。配布資料で復習する。	4
14	【脊髄損傷】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P133～138 を読んで、予習課題を行う。配布資料で復習する。	4
15	【その他の疾患と外傷 手屈筋腱損傷、アキレス腱損傷など】 フィードバックの方法、学生の意見交換の場：授業中随時チャットまたは音声で行う。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習課題を行う。配布資料で復習する。	4
試	筆記試験			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		92	0	0	0	0	8
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	16	0	0	0	0	16
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	8	8
	問題を発見・解決する力	16	0	0	0	0	16

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	筆記による定期試験を実施して評価する。定期試験では予習課題、講義内容、教科書の記述、各授業で配布したプリントの内容の理解度を問う問題を出題する。第 8 回から 15 回までの予習課題が各回 80% 以上の正解率の場合は取組みの姿勢、意欲の評価で各回 1 点加点する。(合計 8 点)	試験終了後解答例と講評を掲示する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備 考

担当教員：◎山本 泰宏

教員の実務経験：整形外科医として34年の実務経験

実践的授業の内容：診療の現場で撮影した写真、動画を授業中に使用する。

遠隔授業については事前の研修で十分に Teams の扱い方を習得しておくこと。ハウリングを避けるためマイクのミュート、通信料削減のためカメラオン/オフの方法は確認しておくこと。授業中はチャットで随時質問を受け付けます。質疑応答は音声通話で行うこともあります。

授業内容は原則として録画します。受講途中にパソコンの不調、通信回線の不具合等で受講ができなくなった場合は後日 Stream で視聴してください。質問は Teams のチャットまたはメールで随時受け付けます。

コロナウィルス感染症の流行の状態によっては授業方法の変更があり、シラバスが改訂される可能性があります。